

委員募集は締め切りました

会 員 各 位	ばねの遅れ破壊に関する研究委員会 (第Ⅱ期) 委員募集について	研 第 26-1104
		2014年11月4日
		日 本 ば ね 学 会

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、当学会に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来年度(2015年度)発足する標記委員会の委員を募集いたしますので、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

近年、ばねの軽量化・小型化・高性能化ニーズに対応するため、ばね材料の高強度化がはかられているが、材料の高強度化に伴い「遅れ破壊」の発生が懸念されることから、高強度鋼における遅れ破壊評価は極めて重要である。このような背景のもと、日本ばね学会では、「ばねの遅れ破壊に関する研究委員会」(2009年6月～2014年3月)の活動を実施した。そして、ばね鋼 SAE9254、9254V を供試材として CSRT (Conventional Strain Rate Technique) 試験及びねじり試験を行い、引張応力ないしねじり応力における水素量と破断強度、破壊形態との関係について知見を得た。

試験片での遅れ破壊特性については一定の成果を得たが、実環境・実ばねにおける遅れ破壊との関係は未だ明確になっていない。また、研究委員会発表会にて実施したアンケート結果から、実ばねでの遅れ破壊試験法の確立を望む声強いことが明らかとなった。遅れ破壊試験方法の確立は、ばねおよびばね材料の更なる高強度化におけるリスク評価や開発スピードアップに繋がることが期待される。

そこで、今回「ばねの遅れ破壊に関する研究委員会(第Ⅱ期)」を立上げ、懸架コイルばねにおける遅れ破壊の現状把握、コイルばねを用いた遅れ破壊試験方法を検討し、自動車用懸架コイルばねの遅れ破壊試験方法を提案するための指針を得る事を活動目的とする。

2. 委員会構成と予定期間

委員長 : 萩原行人氏

副委員長 : 1～2名程度選出予定

予定期間 : 2015年6月～2018年3月

3. 申し込み締切日 : 2014年12月12日(金)